

祝!! 公民館報200号

20年度 分館長 抱負を語る

大講堂講座開催 受講生230人を越す
魅力ある講師の講演に酔う!!

志もじょう
藤田市のネットタウン
としての発展を!!

下條の未来は村
公民館報百号



館報
志もじょう

第200号 令和4年3月15日

発行：下條村公民館 館報部

印刷：龍共印刷株式会社



一年を振り返って

公民館長 宮島好文

令和三年度の下條村公民館活動が終わろうとしています。今年度も、コロナ禍により当初予定していた活動も思うように進めることができず、運動会・駅伝大会が中止を余儀なくされました。また、成人式については、何とか開催したいと願っておりましたが、運悪く大雨のため、これもまた中止となってしまいました。

しかしながら、各分館においては、分館長さんを初め、主事の方、関係者の皆様等々のご努力により、コロナ禍の合間を縫うようにして実施していただきました。また、最初からだめだとあきらめずに行うことができる工夫しつつ実施し、文化の伝承等に努めていただきました。

「玄狼煙りレー」については述べます。

この狼煙りレーは、毎年行われておりますが、今年も特別で、武田信玄生誕500年の記念すべきイベントとなりました。昨年までは、下伊那根羽から諏訪あたりまでの狼煙りレーだったのですが、生誕500年ということで、信玄の居城である躰躰ヶ崎館（つづじがさきやかた）今の武田神社までこの狼煙りレーをつなぐことができました。距離約二八〇kmを二時間十五分つなぎ、下條の極楽パノラマパーク・足畑狼煙址を含めて六十八カ所で行われた狼煙り大会は、五月前、二八〇km、二時間十五分、六十八カ所：数字を挙げただけでも、壮大さとロマンを感じるイベントでした。

た館報です。歴代の館長さんを初め、館報作成に直接関わっていただいた公民館主事の方たち、その時々の方々の皆さん等、そういった方々のご努力に対して敬意を表し、感謝申し上げます。

今年度の一九七号から一九九号までの大きな記事を振り返ってみても、「下條村B&G海洋センター修繕助成決定書授与式」について、「第二回下條村ロードレース」について、「文化の祭典」の様子等、村で行われた行事・公民館事業の様子が生き生きと伝わってきます。

また、各分館の様子が分かる「分館トピックス」では、第一分館の「小松原の獅子舞の様子」、第二分館の「十月三日に行われた大煙火大会の様子」、第三分館の「十月十六日に行われた神明社の例大祭・奉納煙火の様子」、第四分館の「八月八日に行われた子供お楽しみ会の様子」、第五分館の「十一月二十一日に行われたゴルフ・マレットゴルフ大会の様子」、第六分館の「十月二十四日に行われたお絵干しの様子」等々各分館長さん・主事さんを中心となって行事・事業を盛り上げた館報です。

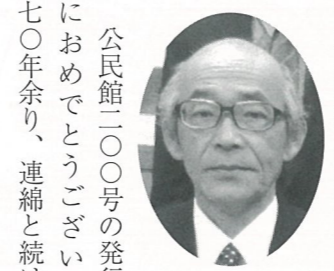


在職期間 H18.4 ~ H27.3

「元氣な村の実現に向けて」
飯島國昭（相田）

館報二〇〇号を記念して歴代館長さんに当時は振り返って頂きました。

このように館報は、下條村の文化・生涯学習の様子が伝わる大切な広報です。公民館・分館の事業・活動を充実させるとともに、今後も年間四回発行される館報を大切にしたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



在職期間 H27.4 ~ R3.3

「コロナ禍の思い出」
細田照一（小松原）

公民館二〇〇号の発行、誠にありがとうございました。七〇年余り、連綿と続けてこ

でしたが、「サルやクマの応援では・・・」の声も聞こえていたので、村内縦断をと腹を決めました。できれば、中島回りにしたいと思ったのですが、主事さんたちの案で、コスモスの湯をスタートとする現在のコースとなりました。参加者は、村民主体として、小学生や中学生の参加も呼びかけ、徐々に表彰の幅も広げ実現しました。

村民運動会では、日ごろ会えない親田の人と小松原や入野の人たちが親しく会えるように、の思いが通じ、役場の若い人たちの案の、「焼肉大会」は、大ヒットだったと思っております。コロナで益々絆が失われて来っていますが、大切にしていってほしい行事です。

られましたことに敬意を表します。

平成二十七年年度から令和二年までの六年間、大変お世話になりました。とりわけ令和二年におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により生活様式も大きく変化した年となりました。令和二年の年明けより毎日報道がなされ、たちまち世界を巻き込むパンデミックとなり公民館活動も中止あるいは縮小という事態となりました。

そのような中でも、人生に一度という成人式につきましては何とか開催し、門出をお祝いしたいと思いました。実行委員の方々、村をはじめ教務事務局のご理解とお力をいただき縮小しつつも節目の年を祝うことができました。又、参加者からも感謝の言葉が聞かれ、これからの成長を頼もしく思ったところです。現在もコロナ禍は続いており、今後、暮らし方も変化するかもしれませんが、人と人とのつながりも大切に守ってゆきたいものと思っております。

下條村 体育協会・文化協会紹介

下條村教育委員会では、下條村体育協会と下條村文化協会を支援しており、生涯学習の推進を行っております。新たな趣味や新しいことにチャレンジしたいという方、また各クラブの活動に興味のある方は下條村教育委員会までご連絡ください。

◎お問合せ先 下條村教育委員会 ☎0260-27-1050

今月号では体育協会・文化協会からこの2団体の活動を紹介します

花みずき



花みずきは教育委員会主催の女性学級が始まりました。平成20年7月、池田悠貴鳳先生に「マツケンAWA踊り」を教えて頂き、1回で終わりにしてはもったいないということで有志がグループをつくり花みずきが誕生しました。

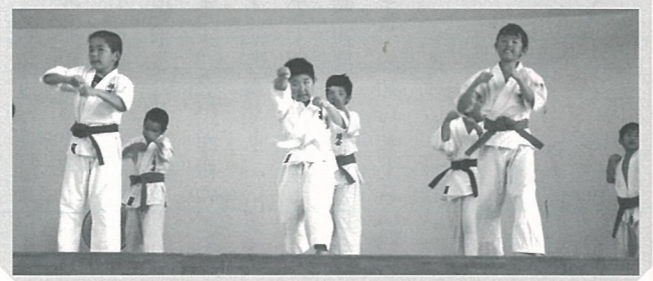
それから13年経ちました。現在6人で月2~3回練習をしています。敬老会、文化の祭典、南部地区芸能発表会、施設のボランティア等、発表の場を頂きそれに向けて練習してきました。現在、コロナ禍であり発表する場はありませんが、いくつもの新しい曲に挑戦しています。一つの踊りを覚えるのが大変ですが、優しく指導して下さる先生に感謝しながら楽しくやっています。肩・腰・ひざなどこかしら、痛い者の集まりです。でも頭の体操や体を動かしながらストレッチを兼ねて健康のためいつまでも元気でいたいと思ひながら頑張っています。体を動かしたいなあ...と思っている方、大歓迎です。

武道空手少年クラブ 下條教室



武道空手少年クラブ 下條教室は、保育園児から高校生までが元気に身体を動かして稽古に励んでいます。空手と聞くと型や突き蹴りだけをイメージされる方が多いと思いますが、私たちの空手は突き蹴りはもちろん相撲や受け身、投げなど、全身を使った稽古が特徴です。成長期の子供たちは競技に特化した偏った運動ではなく、人間本来の自然な動き（歩く、走る、叩く、持ち上げる、投げるなど）をすることで身体を動かすことの楽しさに目覚め、年齢の違う子供たちが身体をぶつけ合うことで手加減を覚えたり、年下の子や自分より体力がない子に対して優しさを育んでくれたらと思ひ稽古をしています。2022年は、まん延防止等重点措置で数回しか道場で稽古ができていませんが、解除されましたら元気にいっぱい道場を走り回りたいと思ひます。

稽古日 毎週月曜日 18:00 ~ 19:30
稽古場所 武道センター柔道場
お問い合わせ 090-7264-9718 木下



分館トピックス

第1分館

新型コロナウイルス感染症が流行し2年となりましたが、ウイルスは何度も変異して新しい株となり流行がなくなる状況となっています。

小松原地区としてこの状況の中でも、地区の交流と伝統行事を残せるように自分達も変わる(変異)事ができればと思います。

恒例の大門松作り、どんど焼きを行うことが出来ました。

門松は、去年は作成できませんでしたが、今年は皆で協力し作成する事が出来ました。

どんど焼きは、感染の不安の中、どのように行うか区長、PTA 役員で相談し実行となりましたが、どんど焼きの炎は何年ぶりに真っ直ぐ高く立ち登り、とても幻想的で素晴らしいものでした。



第4分館

第4分館では、1月1日(土)に元旦マラソンを開催しました。感染症対策として親田区の方に限定しての参加になりましたが多くの方に参加していただく事が出来ました。天候にも恵まれ、子供達が寒風の中を元気よく駆け抜けて行きました。参加者全員が怪我もなく完走し、表彰式と抽選会を行い賑やかな元旦を過ごされました。

1月21、22日に予定されていた剣道寒稽古は感染警戒レベル引き上げに伴い中止となりました。



第5分館

12月12日(日)に合原区ゲームウォーキングが開催され約40名が参加されました。合原区内(1周約4km)の各名所を歩きながら、芦畑山の標高や合原皇大神宮の珍しい御神体のクイズを答えたり、消防ホース担架の組立時間を競ったり、クジを引いたり、移住希望者用「お試し住宅」の見学をしたり、地域の文化や歴史を学びながらチーム毎に競いました。



文芸欄 あせ道のうた

△みすゞ下條俳句会

一・二月抄▽

年新た三年目に逢ふ子と孫と
裸木に梯子立てかけ年を越す
つまづいて足もとさぐる冬銀河

宮島 住枝

元日に出勤の子の鏡前

凍て解けを待ちて男の竹を裂く
瑠璃という名を授かりし竜の玉

塩沢美枝子

七種を雪の下より掘り当てる
どの部屋も開けて追儺の夫の
線香の匂ひの口に春団子

丸山 浩子

寂聴の声の降りくる大旦
北斎の赤富士貼って寒見舞
赤石山を屏風に春の扇状地

中村 喜子

編集後記

令和三年度最後の公民館報をお届けします。今年度も新型コロナウイルスもクロン株の流行により各地区の行事が延期又は中止となりました。公民館報の記事も苦勞が続きましたが皆様のご協力もあり予定通り4回の公民館報を発行することができました。

来年度は新型コロナウイルスの流行が収束し予定通り行事が実施出来ることを願っています。公民館報の記事も随時募集していますので何かありましたら館報部又は教育委員会までお知らせ下さい。

